

新潟市における取り組み

市の取り組みと調査の意義

新潟市では、高齢社会や環境問題への対応とあわせ、拠点性強化が求められる中、市民のみなさまの快適な暮らしを支え、過度に自動車に依存しなくても、誰もが移動しやすい交通環境の実現に向けた取り組みを進めています。

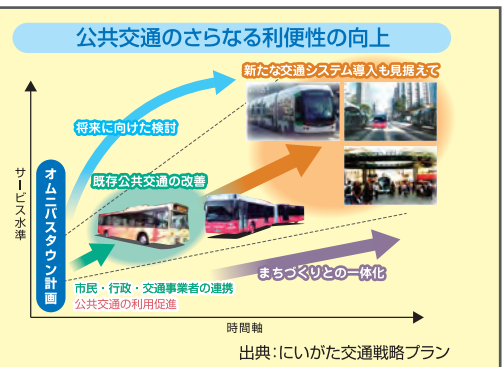
特に、都心部では自動車を使わなくても快適に移動できるサービスレベルが高い基幹公共交通軸^{※1}の実現が必要と考えています。

このため、本市では都心アクセス軸を強化するとともに基幹公共交通軸への新たな交通システムの導入に向けて検討を進めており、本市にふさわしい新たな交通システムを市民のみなさまと一緒に考えていきます。

新たな交通システムの導入に向けて…

まずは、公共交通を利用する人の流れをしっかりと作り出すことが重要であると考え、基幹公共交通軸において、基幹バス「りゅーとリンク」を運行するなどオムニバスタウン事業を推進するとともに、パーク&ライド^{※2}やバスレーンの拡充等による利用環境の整備に努めています。

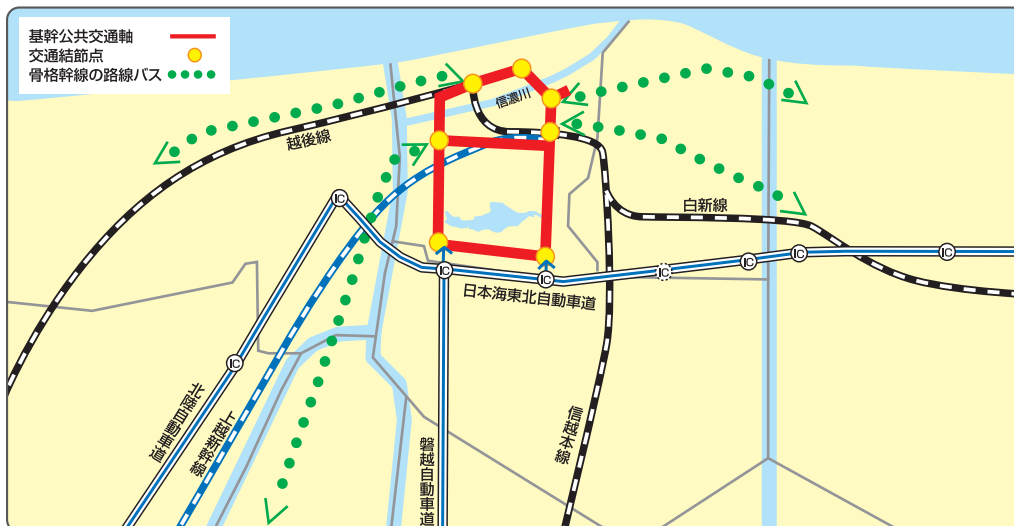
こうした取り組みを進めることで、新たな交通システムの導入につなげていきたいと考えています。



新たな交通システムの位置付け

都心部の主要拠点間を連絡する基幹公共交通軸にサービスレベルの高い新たな交通システムを導入するとともに、放射方向の都心アクセス軸を強化し、乗り換えの便利な交通結節点で連携を図ることで、新潟市全体として快適に移動できる交通環境の実現を目指します。

また、新たな交通システムを導入することで、主要な拠点間の移動における定時性・速達性の向上やシンボリックな交通システムによる新たな魅力創出、移動性の向上などの効果が期待されます。



基幹公共交通軸
新たな交通システムの導入

交通結節点
駅やミニターミナル、パーク&ライド駐車場における公共交通や自動車等との乗継利便性の確保(交通結節機能の強化)

都心アクセス
自動車との適切なバランスを図りながら、既存鉄道網や高速バスに加え各方面からの骨格幹線の路線バスのサービスを強化

※1 基幹公共交通軸 都心を中心に主要な拠点を結ぶ公共交通の軸
※2 パークアンドライド 駅やバス停付近に設けられた駐車場に自動車や自転車を停めてそこから公共交通を利用して移動すること